

令和4年度主要施策（予算への意見）

◎ 全般に関する事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策の実施

学校及び社会教育施設において、学習活動、スポーツ活動及び芸術文化活動を安心・安全に行うためには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の継続が必要な状況です。

2. 施設照明のLED化の促進

水銀灯の生産終了や蛍光管の生産縮小が進められる中、環境への配慮のためにも照明のLED化が迫られており、教育委員会所管施設においても電気料金削減のメリットも見込まれることから、早急なLED化が必要です。

◎ 学校教育の充実

1. 学力向上対策

学習サポートプログラム事業として実施している小中学校対象の「放課後教室」及び小学校対象の「チャレンジ深川」は、学力向上対策として効果を上げており、継続が必要です。

2. 学校運営の体制整備

近年、特別支援学級での支援が必要な児童生徒が保護者の意向等により通常学級に在籍しているほか、学習活動や学校生活において介助等が必要な児童・生徒数が増加しており、円滑な授業を行うためには教師の負担が大きく、複数の職員で支援を行わなければならない状況があります。

多様な児童生徒の学校生活における安全確保及び学習環境・学力向上のための支援や介助に加え、周囲に支援が必要な児童生徒への理解促進を図るなどの体制として「特別支援教育支援員」の配置の拡充が必要です。

また、一巳中学校においては、学力向上の取り組みとして習熟度別などの少人数による指導や放課後の補習授業などの効果的な指導を実現するため「市費配置教諭」を配置し、効果が現れてきていることから引き続きの配置が必要です。

3. 教育の情報化への対応（教育機器、教材・教具の整備充実）

予測不可能な未来の社会で生きる力を育むため、社会の流れに対応できる学校教育及び教育環境の整備が急がれます。ICTの活用について、教育委員会はICT支援員を採用し教職員への支援体制を整えるとともに、市立小中学校においては、GIGAスクール構想で整備したタブレット端末を使い試行錯誤を重ねながら積極的に実践しています。

今後、授業における更なる活用やタブレット端末の持ち帰りなどにより、主体的で、個別最適な学びを実践するには、ICT機器やAIドリルなどの整備が必要になります。

令和4年度においては、まず、授業でICTをより効果的に活用するため、現在のデジタルテレビでは画面が小さいため、電子黒板などの大型提示装置の整備が必要です。

また、ICT支援員の継続配置のほか、最新の状況の研修等が必要となるため、外部講師による研修など、教職員の資質向上及び支援の継続が必要です。

4. 学校施設設備の整備

学校施設は、児童生徒が学校生活の大部分を過ごす大切な教育環境であり、安心・安全であり、健康的に過ごせる施設であることが求められます。

近年は、北海道の夏においても気温の高い日が続くことに加えて、新型コロナウイルス感染症対策によるマスク着用から体感温度が上昇し、学習環境にも影響を与えています。現在は、扇風機を配置し対応していますが、望ましい学習環境を確保することは難しい状況です。近年の公共施設及び家庭におけるエアコンの普及が進む中、学校施設における早急なエアコンの整備が必要と考えます。

また、老朽化している屋内運動場では、床がささくれており、児童生徒がケガをする事故が発生しています。学校では毎日点検するなど、安全確保に努めていますが、夜間は学校開放により一般市民の利用もあり、災害時の避難所にも指定されていますことから、早急な修繕が必要です。特に、納内小学校は緊急を要する状態となっております。

◎ 社会教育、芸術・文化、スポーツの振興

1. スポーツ施設の整備

総合体育館などのスポーツ施設は、老朽化により修繕が必要な部分や、更新が必要な備品などが多数あります。

各施設を安全、安心、快適に利用できるよう、計画的な整備・更新が必要です。

(修繕・更新が必要な施設の一例)

- ①総合体育館：メイン・サブアリーナ床面の凹凸修繕、バスケットゴールの歪み、卓球用フェンスの更新
- ②陸上競技場：歪みが発生しているハードル等備品の更新、写真判定棟の補修
- ③温水プール：消毒・殺菌装置、配管設備等の不具合の改修
- ④桜山パワーアップロード：専門業者による定期的なメンテナンス

2. 社会教育施設整備

① 中央公民館の建て替え

中央公民館については建設後40年以上が経過しており、全体的な老朽化が激しい状況です。社会教育の中心的な施設として、建て替えに向けた具体的な検討を進める必要があります。

② 文化交流ホール施設の設備改修

文化交流ホールみらいは建設後17年以上が経過していますので、施設を安心して利用できるよう、舞台の吊物装置について計画的な修繕による維持管理が必要です。

3. 文化・スポーツ合宿招致の推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、激減した文化・スポーツ合宿の回復が急務であることから、合宿招致助成事業の継続など、積極的な招致活動が必要です。

4. 芸術・文化活動の推進

市民が優れた芸術・文化に触れる機会を増やすため、アウトリーチ事業と各種公演事業の拡充や、市民自らが企画・招聘する機会を後押しする施策の推進が必要です。